資料　6

静岡型スポーツ・イン・ライフ認定制度　審査用資料

仕事と競技の両立でアスリートの夢実現をサポート！

企業・団体名	株式会社HoQホールディングス

1.企業・団体紹介

・静岡県中・西部に三菱、スズキ、アウディの店舗を11店舗展開する自動車販売会社
・働き方改革を積極的に実施し、アスリートのデュアルキャリア形成をサポート
・全従業員の物心両面の幸せを経営理念とする従業員思いの会社

2.取組の概要

取り組み内容
アスリートのレベルに応じたサポート内容（大会参加費用負担、食費サポート等）を充実させ、練習の為に残業をさせない等の負担を軽減した職場環境。仕事は一般社員と同じ内容でキャリア形成を実現。

取り組みのきっかけ
アスリート学生のデュアルキャリアを考え、アスリート採用を開始。競技生活が終わっても静岡で働き続けるキャリア形成と環境を整備。

効果
アスリート社員が頑張る姿を一般社員が応援することで、社内の一体感がより強化。日本選手権出場時には社員たちが応援に行く、定期的に社内でアスリート新聞を発行するなど、アスリート社員の理解度が向上。
アスリート社員たちがSNSで情報発信することで、他県からのアスリート応募が増え、採用活動にも貢献。また、2025年国体静岡県代表に選出されたトライアスロン選手もサポート中。

3.工夫やアピールポイント、成果

★アスリート採用を実施★
今年4月に競泳選手2名、トライアスロン選手1名を採用
現在アスリート社員が4名になり社内の活気がアップ！

★静岡マラソン2026に社長と役員、社員、内定者が出場★

4.今後の展開

アスリート社員たちが夢である大きな舞台に立てるように全力でサポートします！県内大学の運動部とスポンサー契約を進行中。

HoQ HOLDINGS









ホワイト企業認定

静岡で一番体が柔らかい会社！

企業・団体名	株式会社KYOWAエンジニアリング・ラボラトリー

1.企業・団体紹介

・㈱KYOWAエンジニアリング・ラボラトリーは1992年創業の専門技術サービス業の会社です。
・システム開発、アプリ作成、電気・電子回路設計、3次元CADを使用したメカ設計、試作品製作などお客様の要望に応えます。
・社員は約80名（男女比8:2）

2.取組の概要

●取組内容
・月1回前屈測定の実施。

●目的
・多くの社員の業務がデスクワークの為、運動不足になりがちで肩こり、腰痛などの悩みをかかえる又は、BMI値の数値が24以上の割合も多い事からまずはストレッチの意識を高め、筋肉を柔らかくして血流を良くしたい。

●効果
・多くの社員がストレッチの意識が高まり、体の状態が改善されたなどの声も聞くようになった。

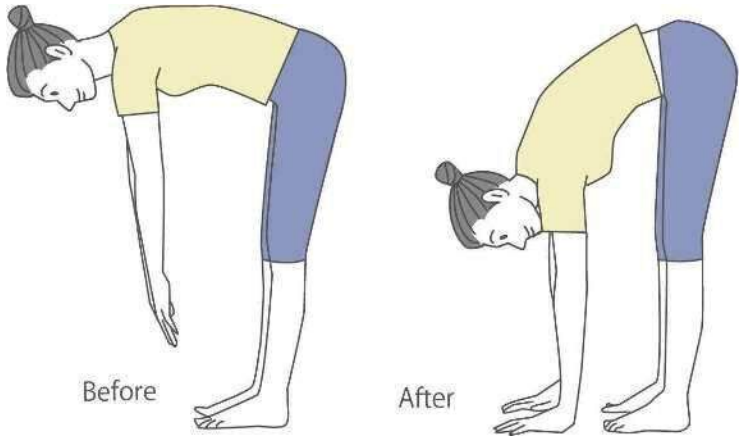
●課題
・まだストレッチの意識が高まらない社員がいる為、体を柔らかくする事のメリットなどを説明していきたい。

3.工夫やアピールポイント、成果

・性別と年齢による全国平均値を目標とした。
目標がある事とその目標が数値化されている事で達成までどれくらいなのか、先月より成果が上がっているかなど見えるかする事で達成感を感じ取れる為、ストレッチ意識向上につながる。

4.今後の展開

・現在は前屈測定の実施のみだが、体のどこの部位の筋肉を柔らかくしたいかなど社員にアンケートなどを行い、他のストレッチも取り入れていきたい。



綱引で繋ぐ、社員の健康と地域の笑顔

企業・団体名	明治安田生命保険相互会社　静岡支社

1.企業・団体紹介

2004年に明治生命と安田生命が合併して誕生した生命保険会社です。
「人に一番やさしい生命保険会社」を目指し、全国の支社・営業所を通じて対面でのコンサルティングを大切にしています。Jリーグのタイトルパートナーとしてスポーツ振興を支援するほか、地方自治体との連携による健康増進活動や行政サービス案内を通じた自治体との橋渡しなど、地域に根ざした取り組みを進めています。

2.取組の概要

●取組内容

①静岡県綱引連盟との連携

静岡県綱引連盟と連携し、綱引大会への協賛や運営補助を行っています。本取組は４年目となり、昨年は４大会に参加し、営業員やお客さまを含めてのべ600名以上が参加しました。直近の焼津市長ご臨席の大会では、参加者200名のうち90名が当社のお客さまでした。
社員が競技に参加するだけでなく、大会運営を支える側としても綱引の普及に貢献しています。

②社内サークル活動「綱引部」

社員有志による綱引サークルを運営しています。年齢・性別・運動経験を問わず参加でき、部署を超えた交流や運動習慣づくりにつなげています。全職員が一度は大会に出場することを目標としています。

③小・中学校への綱引教室の開催

静岡市内の小・中学校９校で綱引教室を開催しています。４年間でのべ700名以上の児童が参加し、綱引を通じて体を動かす楽しさや、仲間と協力する大切さを伝えています

3.工夫やアピールポイント、成果

当社の取組は、綱引を通じて社員・お客さま・地域・次世代をつなげている点が特徴です。
綱引は、年齢・性別・運動経験を問わず参加しやすく、仲間と声をかけ合いながら取り組めるスポーツです。社内では、健康増進や運動習慣づくりに加え、部署を超えたコミュニケーションの活性化や一体感の醸成につながっています。
また、社員が競技を「する」だけでなく、大会運営を「ささえる」側としても関わることで、スポーツを支える意識も高まっています。さらに、学校での綱引教室を通じて、子どもたちにも運動の楽しさや仲間と協力する大切さを伝えています。
社内の健康経営にとどまらず、地域貢献や次世代育成にも広がる取組として、静岡型スポーツ・イン・ライフの実践につなげています。

4.今後の展開

●今後は、静岡銀行様と共同主催で、地域企業40社以上と連携した企業対抗綱引大会を青葉シンボルロードで開催予定です。企業同士がスポーツを通じて交流する機会を創出し、中心市街地のにぎわいづくりや地域活性化にもつなげていく予定です。
●また、小・中学校への綱引教室については、開催校数や参加児童数のさらなる拡大を目指します。
子どもたちが身近な場所でスポーツに親しみ、仲間と協力する大切さを学べる機会を継続的に提供していきます。
●将来的には、全国綱引協会との連携も視野に入れ、静岡発の取組モデルを全国へ発信していきたいと考えています。地域で培ったノウハウを活かし、綱引を通じた健康増進、企業間交流、地域活性化、次世代育成の輪をさらに広げてまいります。


第38回 焼津市長杯兼2026オープン綱引大会


小学校での綱引教室


第19回しずおかスポーツフェスティバル


中学校での綱引教室

社員の体力測定・社員のお子さんへの福利厚生

企業・団体名	株式会社80SKIPホールディングス　アローズ ジム＆ラボ

1.企業・団体紹介

・株式会社80SKIPホールディングスアローズジムは、スポーツ科学を駆使した子ども専用のスポーツジムです。
・「科学の力で子どもの運動能力を上げるジム」を使命とし、子どもに最先端のスポーツ科学とトレーニングを提供しています。

・株式会社80SKIPホールディングスアローズラボはスポーツ科学による測定で個人やチームの運動能力の課題を見つける測定施設です。

2.取組の概要

アローズジムの取り組み
・社員の子どもへの福利厚生
社員の子どもに対して、福利厚生として会員費用のサービスをし、お子さんの運動機会と運動能力を向上。

・アローズラボの取り組み
・社員の体力測定
社員の運動する機会を提供するために、アローズの測定施設において、体力年齢を測定し、運動の意識付けと運動習慣をつけるためのアドバイスを測定データから分析・評価し提供。

3.工夫やアピールポイント、成果

・社内の定期的な共有連絡（福利厚生）
アローズジムの成果
お子さん入会数（1名）

アローズラボの成果
体力測定（7名）

4.今後の展開

アローズジム・ラボ共により多くの社員の方々にスポーツ科学を通じた運動機会の創出を広げてまいります。







子育て世代へ向けて「安心・安全」楽しい運動の機会を創出

企業・団体名	株式会社東海道シグマ

1.企業・団体紹介

・株式会社東海道シグマは、1987年設立の総合人材サービスの会社です。静岡県内を基盤として、人材派遣・請負サービス、人材紹介、転職支援、各種研修事業、各種公共受託事業運営などを行っております。
・人材の需給調整機能としてのみならず、人材の育成・教育・地域課題への取組みを通じて地域貢献に取り組んでいます。

2.取組の概要

【取組内容】
・2025年より静岡ママパパゼミ（(株)hub運営・会員数2,400名）へ参画。公益財団法人静岡市スポーツ協会様と連携して、子育て世代へ運動の機会の認知拡大と提供の取組を開始。
「おやこひろば教室」（2026年3月第1回実施）
【きっかけ】
・2025年４月から静岡ママパパゼミの運営として毎月、子育て世代応援イベント（例：親子でできる工作・手芸教室等）を無償で提供。
・2025年会員向けに実施したアンケート「今後希望するイベント」にて「子どもが安心して走り回れる場が欲しい」という声が多く寄せられた。
・この結果に基づき、静岡市スポーツ協会様に相談。南部体育館で行っているおやこひろば教室と初の民間連携という形で新たな層へ認知を広め、ママパパゼミを通じてより多くの子育て世代に運動へ参加してもらう機会を継続的に提供していくことになった。
【実施結果】
日　　時：2026年3月27日　第1回おやこひろば教室（連携バージョン）
参加人数：協会独自招客　　30組　70名
　　東海道シグマ招客　27組　62名　合計132名　※新聞取材有
【効果】
・平均参加人数の倍以上の参加数を確保（新たな層へ認知成功）
・アンケート回収33組：大変満足21組・満足12組　概ね良好な結果

3.工夫やアピールポイント、成果

・当取組は官民連携による潜在層への認知・門戸拡大がポイントである。
・幅広く運動の機会を認知してもらうべく、広報活動を強化。
スポーツ協会様、東海道シグマ、ママパパゼミの各SNSにて広報展開。
イベントや関係各所でのチラシ配布依頼も合わせて実施。
・体育館は冷暖房完備で交通事故などの危険が無い安全な環境である。
安心して体を動かす場が欲しいという会員の期待に応えられたこと、体育館としても新たな層への認知拡大につながった。
・当社内でも、当活動を通じて社内へ体育館利用などの運動習慣化啓発活動を行っている。

4.今後の展開

・2026年11月21日　第２回静岡ママパパゼミ
わくわく親子体操教室連携開催決定　→ 以後定期開催へ
・静岡市スポーツ協会実施予定の体育館見学会参加、回数券のノベルティ利用など社員向け運動啓発活動を展開予定。





ゴルフ・グランドゴルフ・クリケットで広げるスポーツ交流

企業・団体名	株式会社リバティー

1.企業・団体紹介

・株式会社リバティーは、宿泊施設向けシステムの開発・提供及びリバティーリゾートの運営を行う静岡市の企業です。
・旅館の業務支援を通じて地域観光を支えるとともに、社員の健康づくりと地域交流を大切にしています。
・外国籍社員も多く在籍しており、スポーツを通じた多文化交流にも取り組んでいます。

2.取組の概要

●取組内容
・ゴルフ、グランドゴルフ等のスポーツ交流、クリケットを通じて、社員同士や地域関係者との交流を行っています。
・ゴルフは２か月に１回程度、希望者を中心に継続して実施しています。
・グランドゴルフ等のスポーツ交流は、部署ごとの年１回の旅行・交流行事の中で実施しています。
・クリケットは、６月～11月頃の期間に、バングラデシュ出身の社員が中心となって開催し、他の社員も混ざって交流しています。

●きっかけ・目的
・部署・世代・国籍を越えて交流する機会をつくり、健康づくりとコミュニケーション活性化につなげるため開始しました。
・特にクリケットは、外国籍社員の文化や得意分野を活かしながら、自然な多文化交流の場となっています。

●実施頻度・参加者
・ゴルフ：２か月に１回程度
・グランドゴルフ等：部署ごとの年１回の旅行・交流行事
・クリケット：６月～11月頃に随時開催

3.工夫やアピールポイント、成果

★無理なく続けられる頻度
・ゴルフは２か月に１回程度、部署旅行でのスポーツ交流は年１回とし、業務に支障なく参加しやすい形にしています。

★多様な人が主役になれる種目設計
・ゴルフ、グランドゴルフ、クリケットと特徴の異なる種目を組み合わせ、年齢・体力・経験を問わず参加しやすくしています。

★国際交流・地域交流につながる
・クリケットではバングラデシュ出身社員が開催・説明役となり、社員同士の理解促進につながっています。
・普段接点の少ない社員同士が、スポーツを通じて自然に会話できる機会になっています。

4.今後の展開

・ゴルフ、部署旅行でのスポーツ交流、クリケットを無理のない頻度で継続し、参加者を少しずつ増やしていきます。
・クリケットは、６月～11月頃の季節行事として定着させ、外国籍社員と日本人社員が交流できる場として育てていきます。
・将来的には、社員の健康づくり、多文化共生、地域交流につながる取組として横展開を目指します。





いい汗を流そう！スポーツで交流

企業・団体名	社会福祉法人天心会

1.企業・団体紹介

・社会福祉法人天心会は、特別養護老人ホームを運営しています。
・誠意正心を理念に掲げ、在宅での生活が困難な高齢者に対して、24時間体制で介護・生活支援を提供しています。
・法人全体の職員は約200名

2.取組の概要

●主な取組み
・ボーリングクラブ主催による職員ボーリング大会（年3回）
・ハイキング・ランニングクラブ主催による職員家族ハイキングの実施やマラソン大会への職員参加
●きっかけ、目的
スポーツを通じて職員間の交流の活性化が出来ないかを考え実施した。
●効果
部署を越えての交流が深まった。また健康増進やリフレッシュ効果に繋がった。
●課題
参加されている職員は固定な為、新たに参加してもらえる人が増えていくかが課題となる。





3.工夫やアピールポイント、成果

・職員の家族も参加可能で、ハイキングについては参加者の年齢に合わせて難易度を変更している。
・手軽に参加できる種目（ボーリング・ランニング）で運動ハードルを低減している。

4.今後の展開

・職員から今後ハイキングで挑戦してみたい場所を確認しながら実施していく。
・定期的に実施して、運動を通して職員が長く健康に働ける環境づくりを推進していく。





社員発信の運動習慣～地域スポーツとつながる企業文化へ

企業・団体名	株式会社セイセイサーバー

1.企業・団体紹介

・静岡市を拠点に、清掃・設備管理・警備等を通じて、建物と地域の「安心・快適」を支える総合ビルメンテナンス企業です。
・年齢や職種、勤務場所の異なる従業員が働く中で、「健康で長く働ける職場づくり」と地域とのつながりを大切にしています。
・スポーツを特別な人だけのものにせず、日常の仕事・交流・地域貢献の中に取り入れています。

3.工夫やアピールポイント、成果



① 社員発信！手作りで「スポーツを日常に」
社歌saysaysay・体操・動画を社員自身が制作。現場で無理なく取り組める運動として、健康づくりと参加意識を高めています。

② 本業の「清掃」でスポーツをささえる
ちゅーるスタジアム清水で観戦後の清掃に加え、一般観戦者も楽しめるクイズ式「見えるゴミ箱」を社員が考案。毎回社員のアイデアを取り入れながらプロジェクト活動を継続し進化して行く清掃会社ならではのスポーツ支援です。

③ スポーツ参加の間口を広げる工夫
野球、バスケットボール、ラグビー、モータースポーツ等、幅広く地域チームに協賛。社内報でイベントや観戦チケットのプレゼント情報を発信し、社員それぞれの興味からスポーツを応援し、参加できる環境をつくっています。

4.今後の展開

・セイセイ体操を各現場の朝礼・作業前ミーティング等へさらに定着させ、全社員が日常的に体を動かす機会を増やします。
・クリーンプロジェクトを継続し、「見えるゴミ箱」など社員発信の工夫を重ねながら、本業を活かしたスポーツ支援へ発展させます。
・地域スポーツへの参加・応援・交流を広げ「する・みる・ささえる」を当社らしい企業文化として育てます。

2.取組の概要

① 社員手作りの「セイセイ体操」
・取組内容： 社歌・セイセイ体操・指導動画を社員自ら考案・制作し、社員の健康づくりや労働災害防止のための準備運動に活用しています。
・きっかけ： 全社員が楽しく続けられる、当社らしい健康づくりを目指して開始しました。
・効果： 作業前の準備運動としても習慣化。社内イベントでは参加社員全員で練習し、一体感の醸成にもつながっています。
・課題： 全社員へのさらなる定着と継続的な活用を図ります。





社員の準備運動に活用している体操動画のQRコード→

② スポーツ観戦×清掃「クリーンプロジェクト」
・取組内容： 協賛チーム「くふうハヤテ」の試合観戦後、参加社員全員でちゅーるスタジアム清水を清掃。クイズ式の「見えるゴミ箱」も制作しました。
・きっかけ： 本業の「清掃」を活かし、地域スポーツを継続して「ささえる」活動として企画しました。
・効果： 楽しみながら地域貢献し、社員の一体感・社会貢献意識を高めています。
・課題： 社員のアイデアを加えながらプロジェクト活動を継続。当社ならではのスポーツ支援として進化します。





③ 地域スポーツへの参加・応援・交流
・取組内容： 地元清水クロス主催の綱引き大会への参加、静岡ブルーレヴズ・富士山静岡レーシングへの協賛、選手交流会など、全社員が多彩なスポーツに関わる機会を創出しています。
・きっかけ： 幅広いスポーツを通じ、社員と地域とのつながりを深めるために参加しています。
・効果： チームワークやスポーツへの関心、地域への親しみが向上しました。
・課題： より多くの社員が地域スポーツに関わる機会を広げます。





誰もが楽しめるパラスポーツ

企業・団体名	特定非営利活動法人　結楽

１.企業・団体紹介

特定非営利活動法人 結楽（ゆら）は、静岡市清水区を拠点に、障害のある人や高齢者、子どもたちが、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らしていける社会を目指して活動している。
現在は、障害福祉サービスを中心に、重度訪問介護、居宅介護、移動支援など、一人ひとりの生活や希望に合わせた支援を行っている。地域の福祉授業に参加して、障害当事者の理解やパラスポーツの普及を目指している。

２.取組の概要

●取り組み　小学校でのパラスポーツの普及(1年で５回以上)
●きっかけ　福祉授業の中でパラスポーツを障害当事者と一緒に行ない、「障害について学ぶ」というだけでなく一緒に考え、楽しむことを目指した。
パラスポーツを障害のある人のためのスポーツとして捉えるのではなく誰もが一緒に楽しめるスポーツとして地域に広げてきた。
●効果　正式なルールから障害当事者の障害の違いにより異なるルールを作り、より誰もが取り組めるスポーツへと子ども自身が考えて当事者の思いに寄り添えた。
多くの小学校の福祉教育で実施した結果、パラスポーツの普及につながった。
●課題　地域住民参加型のパラスポーツの実施がまだできていない。

３.工夫やアピールポイント、成果

・子どもたちが障害当事者が楽しめるルールを考えて共に楽しくことができる
・当事者がどうしたら楽しめるかをみんなで考えて誰もが楽しめることを目指している
・子どもたちが障害を知る以上に相手に合わせる工夫をする

４.今後の展開

パラスポーツを通して障害のある人とない人が「支援する側・される側」ではなく、一緒に考え、一緒に楽しみ、一緒に地域をつくる関係を引き続き広げていく。



全職員でウォーキングチャレンジに参加!　～健康増進と職場の活性化へつなぐ～

企業・団体名	静清信用金庫

1.企業・団体紹介

・創立1922年(大正11年)3月11日
・「地域社会の繁栄に貢献する」「お客さまの信頼にこたえる」「よき信用金庫人をめざす」を経営理念に掲げ、地域経済の発展に貢献している。
・職員数　514名(男280人 ： 女 234人)　令和8年3月末現在

2.取組の概要

●取組内容
・健康増進を目的に、静岡県信用金庫健康保険組合の支援のもと、「しんきんけんぽウォーキングチャレンジ」に全職員が参加している。
・本イベントは、専用のスマホアプリを活用した健康増進イベントントで、令和元年より毎年実施している。
・職員がチームを編成し、イベント期間中にウォーキングの歩数を競うもので、上位のチームを金庫が表彰。令和7年度は、歩数の平均値が優秀であったランキング5位までのチームに、金庫より賞品を贈呈。また、新年会の会場で表彰式を執行った。(社内報にも掲載)

●目的
・健康経営に取り組む中、職員の健康増進はもとより、職場のチームワークやコミュニケーション向上を図ることを目的に実施している。

●効果
・本イベントは、現在までに7回実施、延べ4,314人が参加。
・当金庫は、令和元年より7年連続で「健康経営優良法人」に認定され、ホワイト500には、5回認定された。

●課題
・本イベント終了後も、継続的な運動習慣が身に着くよう、更なるフォローが必要。

3.工夫やアピールポイント、成果

★歩くことが楽しくなる!　エコライフにもつながる!!
・専用アプリにより、チームと自分自身の目標が可視化され、歩数もリアルタイムで確認できることから、楽しくウォーキングができ、エコライフにも繋がる!!

★職場のチームワーク、コミュニケーションがよくなる!!
・チームのメンバーと同じ目標に向かって成果を出そうとすることは、職場のチームワークにも繋がる。
・職員同士が、共通の話題を持つことで、職場内のコミュニケーションの向上も図れる!!

4.今後の展開

・今後も継続した実施により、職員の運動習慣比率を高め、より良い職場環境の実現を目指す。



新年会での表彰式の様子　令和8年1月23日

社員から地域へ広がる、スポーツを起点としたWell-beingと地域共創

企業・団体名	三井住友海上火災保険株式会社　静岡支店

1.企業・団体紹介

・当社は来年4月にあいおいニッセイ同和損害保険と合併して、国内最大の損害保険会社となります。
・静岡支店には84名の社員が在籍しており、「**Well-being×地域共創**」を大切に、多くのスポーツチームと関わりながら社員一人一人が様々な活動を行っています。

2.取組の概要

VELTEX静岡試合観戦および募金活動の実施
・社員約60名が参加。VELTEX静岡とともに牧之原市へ約9万円の義援金を寄付しました。

駿府ランサークルの設立・活動
・2026年4月に社内サークル設立。毎月約20名の社員が駿府城公園周辺でのランニングに継続して参加しています。

野球×ユニバーサルスポーツ×防災イベントinちゅ～るスタジアム清水の開催
・静岡市及びハヤテベンチャーズ静岡と連携し、市民参加型イベントを開催。約120名の来場者が、スポーツを楽しみながらユニバーサルスポーツや防災に触れる機会を創出しました。

スポーツを中心にした地域創生を考える地域共創交流会の開催
・スポーツを起点とした地域創生について考える「地域共創交流会」を開催。スポーツチームをはじめとする地域企業58社、計83名に参加いただきました。

FSR(富士山静岡レーシング)との地域共創の取組
・社員および自動車整備業を営む代理店との応援企画を展開。新たな視点でスポーツを楽しみ、モータースポーツと事業者との連携による地域活性化の取組みを実践しています。

★社員一人一人のスポーツ参加を起点に、企業・チーム・自治体・アスリートを繋ぎ、健康、防災、共創、共生を支える地域共創へと発展させています。

3.工夫やアピールポイント、成果

社員の一歩を、地域全体のWell-beingへ
・社員がスポーツを身近に感じ、楽しむことを取組の出発点とし、地域企業、スポーツチーム、自治体、市民へと広げています。
・当社所属アスリート社員(パラアスリート等)とのコラボも含め、地域企業・各スポーツチーム・各自治体とともに静岡におけるスポーツの活性化・身近な親しみを創出しています。

4.今後の展開

清水駅前銀座商店街でのパラスポーツイベント(10月3日開催予定)
・清水区庵原地区におけるユニバーサルスポーツの聖地化推進事業に賛同し、清水クロス、静岡銀行等と連携したパラスポーツ体験機会を継続して創出。(今回で2回目の開催)
・当社はパラアスリートが多く所属しており、その知見や経験を生かしたパラスポーツを通じた地域貢献活動を全国で展開しています。

企業対抗ユニバーサルスポーツ大会(10月17日開催予定)
・一般社団法人ユニバーサルスポーツしずおか、静岡市スポーツ振興課との連携イベントに運営スタッフとして参加予定。本イベントを通じて、スポーツの楽しさや魅力を地域へ広げるとともに、健康づくりや運動習慣への関心を高める機会を創出します。



とこスポ

企業・団体名	常葉大学 草薙キャンパス 地域貢献センター 学生スタッフ Link

1.企業・団体紹介

・常葉大学は「知徳兼備」「未来志向」「**地域貢献**」の3つのキーワードを教育理念に掲げ、未来の国や地域に貢献できる人材を育成しています。
・私たちLinkは、地域と大学・学生をつなぐ拠点として開設された「地域貢献センター」拠点に、**さまざまな地域貢献活動に取り組んでいます。**

2.取組の概要

・取り組み内容

1．放課後児童クラブに出向き、運動推進活動を行っています。
2．大学に子どもを招き、運動推進活動を行っています。

・取組のきっかけ・目的

ゲームの普及やコロナ禍の影響により、近年、静岡県の小学生の体力低下が課題となっています。そこで、子どもたちに**小学生のうちからスポーツを楽しんでもらい、健康的に運動を続けるきっかけをつくりたい**と考え、とこスポの活動を始めました。

・今年度（令和８年４月～８月）の取組

活動日	連携先	活動内容
5月13日	常葉大学教育学部附属橋小学校放課後児童クラブ	手つなぎ遊び
6月3日		台風のため中止
6月10日		ドッジボール
6月17日	ASクラブ	サッカー
6月24日		キックベース
7月1日	ASクラブ	リングリレー
7月8日		アルティメット
7月15日		ドッジボール
8月10日	放課後等デイサービス すまいる	ダンス
8月21日		様々なスポーツ
8月26日	ASクラブ	バレー，ボートボール



↑イメージ絵

3.工夫やアピールポイント、成果

・毎週大学で会議を行い、活動後には振り返り会を開いています。安全面や、みんなが楽しめる方法を考えながら、**毎回の活動をパワーアップさせています！**
・初めての活動で緊張している子どもたちも、活動の終わりには**みんな笑顔になっています！**
また、「将来、常葉に通いたい!」と言ってくれる子もいます!!

4.今後の展開

SBSの取材やポスターセッションへの参加を通して、**新たな連携先**を見つけることができました！
静岡市には、プロのサッカーチームやバスケットボールチームなどがあります。そうしたプロの選手やスポーツに関わる方々と一緒にスポーツをする機会があれば、子どもたちにとって普段とは違ったスポーツとの出会いとなり、スポーツに興味を持つきっかけにもなるのではないかと考えています。
たくさんの人や団体とのつながりを力に変えて、とこスポの活動の輪を静岡市・静岡県全体へ広げていきたいと思っています！





一体感を高めるグループイベント

企業・団体名	靜甲株式会社

1.企業・団体紹介

当社、靜甲株式会社は、1939年の創業以来、社会のインフラやモノづくりを支える産業機械、冷間鍛造、電機機器、車両関連などの事業を展開してまいりました。現在、420名の従業員とともに、地域の暮らしやコミュニティの安心・安全、そして豊かさに貢献することを目指して活動しています。

2.取組の概要

〇取組み内容

・全従業員および関係会社を対象とした「バルーンバレーボール大会」の実施

〇きっかけ

・靜甲グループは、当社を含め9社で構成されています。グループ各社の交流と従業員の健康増進を目的として、今年で12回目となるグループイベントとしてバルーンバレーボール大会を開催しました。

〇取組による効果

・昨年のバルーンバレーボール大会では、参加者の約8割がイベントに満足しており、職場の活気向上に繋がりました。
また会場内を歩き回りアイテムを見つける「宝探し」を実施することで、遊び感覚で歩く機会を創出し、待ち時間の有効活用と適度な運動の両立を図ることができました。

〇今後の課題

・運動が苦手な人をどう巻き込んでいくか、運動を習慣化するための取組みを検討したい。

3.工夫やアピールポイント、成果

〇職場の一体感向上：運動を通じて、自然とハイタッチをしたり、声を掛け合ったりする中で、普段見ることのできない従業員の一面を発見できます。これはイベント後の話題にもつながり、コミュニケーションの活性化に大きく貢献しています。
〇社員間の交流促進と一体感の醸成：自社開発したアプリを活用することで、社内イベントの待機時間を有効活用します。体育館内に設置したアイテムに貼り付けてあるQRコードを探し歩く「宝探し」を実施し、気軽に楽しみながらウォーキングする機会を提供することで、グループの一体感醸成を目指します。

4.今後の展開

・今後も、従業員が運動する機会を継続的に提供できるよう、企画・運営に努めてまいります。





スポーツの力で、社員と地域を明るく照らす！

企業・団体名	株式会社 すみや電器

1.企業・団体紹介

株式会社すみや電器は創業100年を迎える老舗企業です。
電気工事に欠かせない電気設備機器を電気工事店様などへ提供することで、地元しずおかを明るく照らすお手伝いをすることが当社の役割になります。
令和8年3月竣工の本社では、スポーツとウェルビーイングを身近に感じられる職場環境を整備し、社外からの見学も受け入れています。

2.取組の概要

●「みる・ささえる」から、社員の「する」へ
清水エスパルスをはじめへの、ホームタウンチームへのスポンサー活動を、社員がスポーツに関わるきっかけづくりにつなげています。
清水エスパルスの冠試合では、貸切バスやピッチウォークを用意するなど、スポーツに関心の薄かった社員や家族も参加しやすい観戦機会を創出しました。また、静岡ジェードには決起会の会場を提供し、選手、スポンサー、ファンが交流しながら卓球を楽しめる場づくりを支援しました。

●毎週水曜日を、スポーツに親しむ日に
毎週水曜日を定時退社デーとし、各スポーツイベントへの参加推進を実施。
ベルテックス静岡が運営するVEL-Beingプログラムによる社内運動ワークショップ、ナイトゲームの観戦会、エスパルスドリームフィールドでのフットサル、他企業との交流試合など、多様なプログラムを継続的に実施しています。
競技経験の有無や興味・関心に応じて選べる機会を設けることで、一部の社員に限らず、誰もが自分に合った形でスポーツに関われる環境づくりを進めています。

●スポーツの要素を取り入れたウェルビーイングオフィスへ
令和8年3月竣工の本社では、スポーツに寄り添う内装デザインを導入。
サイン入りユニフォームやポスターを展示するほか、スタジアムやアリーナをイメージした執務空間を整備。さらに、電動昇降デスク、バランスボールチェア、フィットネススペース、卓球台を導入し、業務の合間にも身体を動かせる環境を整えています。
「時間」「機会」「空間」の3つを会社として整えることで、社員がスポーツを日常生活に取り入れられる仕組みを構築しています。

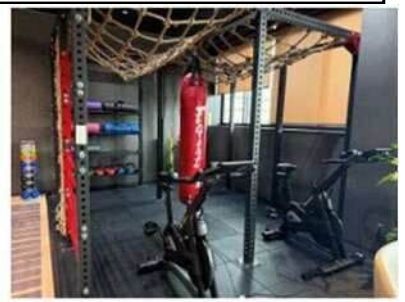
3.工夫やアピールポイント、成果

★イベントで終わらせず、参加が広がり続ける仕組みへ
スポーツごとにSlackチャンネルを設け、参加者募集だけでなく、活動後の写真や感想も共有しています。社員の楽しそうな様子を社内で可視化することで、これまで参加していなかった社員の関心を高め、次回参加への後押しにつなげています。
現在は、社内活動から大会出場を目指す動きも生まれており、スポーツが社員間のコミュニケーションや新たな目標づくりにつながっています。

4.今後の展開

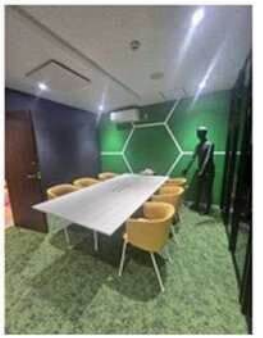
毎週水曜日に継続してスポーツや運動に親しめるよう、社員のニーズを把握しながら、競技、健康づくり、観戦・応援など、幅広いプログラムを展開していきます。

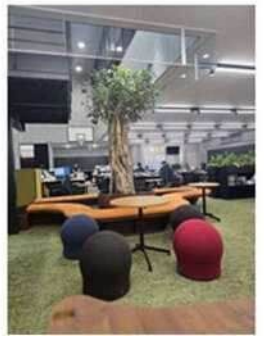












スポーツを通じて町工場のイメージを変える。

企業・団体名	杉村精工株式会社

1.企業・団体紹介

杉村精工株式会社は、1949年に創業したオーダーメイドの機械製造業です。「奉仕を先に利を後に」を経営理念に掲げ、工作機械・自動車生産設備・船舶・鉄道など様々な産業機械全般のオーダーメイド製造を担っております。静岡市・焼津市を中心として協力会社様との繋がりを活かし、社内での一貫体制(機械設計・金属部品の精密加工・機械組立)、徹底した品質、納期遵守を強みとして、お客様から信頼を得ています。社員数は30名。

2.取組の概要

●取組内容

「町工場×スポーツ」を軸に、社員のスポーツ参加促進・スポーツブランド(INNER-FACT)とコラボした商品販売などを行っている。社員自身がプレイヤーとしてスポーツを楽しめるようスポーツイベントへの参加を奨励。参加費を会社で負担し、社内独自に参加賞などの特典を用意して参加を募った。そして外部へのスポーツ波及,PRの為に、社名が入った製造業モチーフのランニングシャツをデザイン。元々は社員用だったが、「購入したい」という社外の声を受け、製作を依頼したランニングのギアブランド「インナーファクト」とコラボシャツとして販売した。現在は別商品もコラボ販売中。また当社代表が理事を務める鉄工組合と藤枝MYFC協同で地域住民向けにフットサルイベントも開催した。これらに関連した活動をX(旧Twitter)、プレスリリースを活用して発信中。

●きっかけ/目的

スポーツ文化を社内外に醸成して、町工場の存在を知ってもらう/製造業全体に根付くネガティブなイメージを改善して人材不足という社会課題を解決したいという想いのもと「町工場×スポーツ」の取組を始めた。なぜスポーツなのか？理由は、アトツギとして2年前に入社した私(杉村岳)がスポーツ業界出身で、その経験を強みとして活かせるということ。そして、製造業の3K「キツイ・汚い・危険」と呼ばれるネガティブなイメージの一因となっている"労働災害"防止にも繋げたいと考えたからだ。労働災害の発生数は、業界別で「製造業が最多」種類別では「転倒が最多」となっている。人材不足による高齢化、ロコモティブシンドロームなどの身体機能低下に伴い、転倒による労働災害は年々増加傾向にある。スポーツによる身体づくりを通じて、労働災害を減らし、ひいては製造業のネガティブなイメージ改善/人材不足解消に繋げる。

●実施頻度/参加者数

2-3ヶ月に1回程度のスポーツイベント参加。月1回程度、イベントに向けた社内練習会。
社員30名中15名は最低1回の参加経験あり。うち6名は今年「しまだ大井川マラソン フルの部」にも参加予定。いずれもランニング経験が無い中でフルマラソン完走レベルにまで運動習慣が定着している。

●プレスリリース(取組に関わる詳細)

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/163727

3.工夫やアピールポイント、成果

●社員のスポーツ実施増のみに留めず、社内活動をSNSやプレスリリースを通じて発信することで会社の認知拡大に大きく寄与した。

静岡型スポーツインライフ推進パートナーに前回応募時、”今後の展開”に記載したように、広報を兼ねたオリジナルランニングシャツの着用→コラボ販売→メディア露出増と戦略的にハマった。ただ社員が外部のスポーツイベントに参加するだけでなく、それをきっかけにTV・新聞・ラジオなどに繋がったことで普段表立って知られることのない町工場の存在感を全国に示すことが出来た。こうした広報活動も相まって昨年から今日に至るまで5名の新規採用にも繋がっている。

4.今後の展開

●当社が持つオーダーメイド製造技術を活かしたスポーツ製品の開発

これまでは当社の本業である機械のオーダーメイド製造力が活かしきれていなかった。今後は当社が77年に渡って培ってきた機械設計・金属部品の精密加工・機械組立といった製造ノウハウを活かして自社オリジナルのスポーツ製品販売まで繋げたいと考えている。今年に入り、試作品の発表を外部プレゼンで何度か行っているが現状は製品販売に至っていない。地域のスポーツアセット活用、他社との協業など様々な可能性を視野に入れながら検討していく。



4時間耐久リレーマラソンin ふじえだ


藤枝リバティ駅伝


全国PK選手権大会



藤枝MYFCとのイベント開催




ランニング系ギアブランドとのコラボ商品企画・販売

スポーツ活動を通して趣味につなげよう！

企業・団体名	株式会社ヒートライン

1.企業・団体紹介

・株式会社ヒートラインは、2023年に設立された、アウトソーシング事業や精神疾患による休職者への復職支援(リワーク)、EAP、ストレスチェックなどを展開する企業です。
・取引する企業の情熱的な理念やサービスを繋ぐことを使命とし、お客様一人一人の人生を情熱的なものにすることを目指しています。
・第三の居心地良い場所(サードプレイス)となれるよう取り組んでいます。

2.取組の概要

●取組内容
・休職中の方の社会復帰や復職支援のためにスポーツプログラムを実施。(週1回、120分間)

●きっかけ
・社内事業で復職支援に携わっている臨床心理士が医療機関で復職支援(リワークプログラム)を立ち上げた際に、身体を動かすことがメンタルヘルスの改善において重要な役割であることを明らかにしたため、定期的に取り入れている。
・民間企業で復職支援を実施する際に、地域で利用可能な社会資源(地域の体育館等)を有効活用して社員、利用者一丸となってスポーツ活動を行っている。

●効果
・バレーボールや卓球、バドミントン、バスケットボールといった定期的なスポーツ活動は、健康増進や社会復帰後の体力の向上、ストレス解消、趣味や余暇活動に繋がり、円滑なコミュニケーションにも効果的である。

●課題
・現在実施しているスポーツ活動では、利用可能な施設が限られているため、週1回の利用が限界である。今後継続・拡充していくためには、活動スペースの確保が求められる。

3.工夫やアピールポイント、成果

★定期的なスポーツ活動は集団形成に重要である
・全体での実施は週1回だが、プライベートで社会人サークルやクラブ活動などに参加することでQOLの向上につながっている。また、スタッフや利用者間において関係構築やコミュニケーションの機会の一助となっている。

★復職者や社会復帰者の居場所提供になる
・「かかわる人たちのサードプレイスとなること」をビジョンとしたサポートをきっかけに、コミュニケーションが円滑になり、悩み事があった際には気軽に立ち寄ったり、相談できる関係性となっている。

4.今後の展開

・利用されている方が復職、社会復帰後も立ち寄ってスポーツなどを継続できるような場所(サードプレイス)や時間を提供したい。

・精神疾患に罹患したことによる休職者や退職者の社会復帰にご理解いただける企業様を増やし、日中や夜間に運動できるスペースを確保していきたい。





DOPE健康フェスタを通じた地域密着型「する・つながる」スポーツ推進

企業・団体名	株式会社ティーアンドティーグループ　かぶとむしクラブ

1.企業・団体紹介

・静岡市内に活動拠点を置き、福祉事業・地域貢献を柱として事業を展開しています。
・「誰もが健やかに暮らせる地域社会の実現」を目指し、放課後等デイサービスの運営や市民支援を行っています。
・社員自身の健康維持とともに、地域住民の健全育成とスポーツ振興を一体で推進しています。

2.取組の概要

【取組内容】
・高地トレーニングDOPEとの共催による合同イベント「DOPE健康フェスタ」を年1回開催し、地域交流参加型のスポーツ機会を提供。
・トランポリン、ヨガ、マラソン、サッカー、体操など、専門家の指導のもと、子どもから高齢者まで誰もが安全に楽しめるプログラムを実施。
・(付加的取組)静岡市プロバスケットボールチームのゴールドスポンサーに就任。従業員だけでなく、放課後等デイサービスに通う子どもたちやそのご家族、また、障がい者グループホームの利用者から訪問看護、訪問介護の利用者の試合観戦を通じて、スポーツへの興味・関心を高める活動も併せて実施。

【きっかけ・目的】
・地域において「運動したいけれど、何をすればいいか分からない」「運動する場所や機会がない」という声が多く聞かれたことがきっかけ。
・運動が得意な人も苦手な人も、一緒に楽しみながら体を動かし、健康づくりと地域住民同士の交流を図れる場(フェスタ)を創出することを目的として開始。

【実施頻度、参加者数等】
・DOPE健康フェスタ:年1回開催。
　地域住民や子どもたちを中心に多数の参加(実績:300名参加)。
・バスケ観戦:シーズン中複数回。

【効果・課題】
効果:フェスタを機に定期的な運動を始める参加者が増加。異世代交流の場として地域コミュニティの活性化にも貢献。
課題:年1回のイベントだけでなく、日常的な運動習慣へと定着させるためのフォローアップ体制の構築と、運営ボランティアの継続的な確保。

3.工夫やアピールポイント、成果

★参加ハードルを下げる種目設定(工夫)トランポリンやヨガなど、競技性が低く、自分のペースで楽しめる種目をメインに設定。運動に苦手意識を持つ子どもや、体力に自信のない高齢者でも気軽に参加できる工夫をしている。

★専門家との協働モデル(アピールポイント・横展開)自社単独ではなく、専門的なノウハウを持つ「高地トレーニングDOPE」「VELTEX静岡」と協働することで、質が高く安全な運動プログラムを地域に提供。他地域・他企業でも、地元のスポーツ施設や専門家と連携することで再現可能なモデルである。

★「みる」から「する」への相乗効果(成果)プロバスケットボール観戦でスポーツの楽しさを体感した子どもたちが、DOPE健康フェスタで実際に体を動かすという、観戦と体験の好循環が生まれている。参加者からは「家族で一緒に汗を流せて楽しかった」と好評を得ている。

4.今後の展開

・「DOPE健康フェスタ」のプログラム拡充(新たな軽スポーツの導入など)と、開催頻度の増加(年2回開催など)を検討。
・フェスタで興味を持った参加者が、日常的に運動を継続できるような小規模な体験教室や、地域のスポーツクラブとの橋渡し役を担う仕組みを構築したい。
・社内においても、フェスタで実施しているヨガや体操を朝礼や休憩時間に取り入れ、社員の健康増進(健康経営)にもつなげていく。

西ケ谷の公共空間を活用した「親子・多世代で参加できるスポーツ機会創出」と社員・地域の健康づくり

企業・団体名	FirstGlass株式会社（西ケ谷ネストプロジェクト）

1.企業・団体紹介

FirstGlass株式会社は、静岡市葵区西ケ谷エリアを中心に不動産・まちづくり事業を展開する企業です。当社では、社員の健康増進（イン・ライフ）を推進するとともに、地域の小学校・PTAや行政等と連携し、西ケ谷エリアのスポーツ施設や公共空間を舞台にした地域共創プロジェクト「西ケ谷ネストプロジェクト」を運営・推進しています。

2.取組の概要

①社員およびその家族（親子）を対象とした健康・運動習慣プログラム

Crew Run & Night Park Yoga：社員・プロジェクト関係者が定期的に参加するランニングや屋外ヨガ。休日・夕方のセッションでは社員の家族や子どもたちも一緒に参加・見学できるフレンドリーな環境づくりを実施。

②PTA・地域学校等と連携した「親子参加型」スポーツイベント

地元小学校・PTAや行政機関と連携し、西ケ谷の運動施設を活用した複合型体験イベントを企画・開催。

主なプログラム：初心者でも安全に楽しめるスポーツ体験（ラグビー体験・ランニング講座・ローラースポーツ等）、ユニバーサルスポーツ・パラスポーツ体験、働く車展示や地域防災体験など、子どもから大人・高齢者まで親子で一日楽しく体を動かせるコンテンツを提供。

【きっかけ・目的】

働く世代（20～40代）の運動不足解消だけでなく、子育て世代の悩みである「親子の運動機会の減少」や「休日における地域の居場所づくり」を解決するため。職場の健康管理とPTA・地域活動を接続し、家族ぐるみでスポーツに親しむ習慣（イン・ライフ）を育むことを目的としています。

【実施頻度・参加者数】

社員・関係者向け定期アクティビティ：週1回～月数回

PTA・地域連携の親子スポーツイベント：年数回（1イベントあたり子ども・保護者・社員・地域住民を含め数百名規模が参加）

3.工夫やアピールポイント、成果

「職場×家庭・PTA×地域」をつなぐ参加ハードルの低い企画

競技志向ではなく「親子で一緒に体を動かす楽しさ」に重点を置くことで、普段運動習慣がない保護者や低学年の子どもでも気軽に参加できる工夫。

PTA・学校現場との深い信頼関係による高い波及効果

PTA会長としての地域ネットワークや学校現場のニーズを直に反映し、子どもたちの健全育成や「運動好き」のきっかけづくりに貢献。

多世代交流と社員エンゲージメントの向上

社員がイベントの企画・運営やサポートに関わることで、単なる社内運動にとどまらず「地域社会や子どもたちの健やかな成長を支えている」という実感を得られ、社内エンゲージメント向上にも寄与。

4.今後の展開

PTA・地元自治会とのさらなる連携強化

学校行事やPTA活動とも無理なく連動させた「親子体力テスト会」や「季節のナイトパークヨガ・親子ラン」などの定期開催を検討。

持続可能な「スポーツ＆健康コミュニティ」の確立

美和・安倍口エリア等の地域教育・スポーツ資源の再編も見据え、西ケ谷を拠点とした「誰もがいつでも親子でスポーツを楽しめる街づくり」のモデルを静岡市全体へ発信していきます。

Crew Run（ランニング）



Night Park Yoga（ヨガ）

